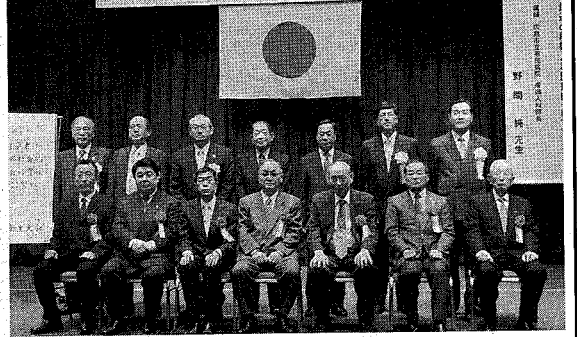


# 中田勝之氏に知事表彰 第25回広島県薬事衛生大会

## 第25回 広島県薬事衛生大会



中田勝之氏

第二十五回広島県薬事衛生大会が十二月四日午後二時から広島市中区富士見町のエソール広島で開かれ、席上行なわれた広島県知事表彰授与式で広島県配置医薬品連合会(小島恒治会長)から中田勝之副会長が薬事功勞により知事表彰を受賞した。

同大会は大会実行委員会の主催、(独)広島県薬剤師会・(独)広島県登録販売者協会・広島県配置医薬品連合会ほか四団体共催、広島県・県市長会・県町村会・(独)県医師会・(独)県歯科医師会・(独)県看護協会後援により開かれ、県内薬事関係団体構成員約百五十名が参加、広島県配置医薬品連合会からは二十名が参加した。

大会長あいさつに続き、表彰式が行なわれ、藤田雄山県知事から受賞者八氏に知事表彰を授与。配置販売関係では県配置医薬品連合

知事表彰受賞者と各団体長による記念撮影「エソール広島」

者代表が謝辞。大会宣言を採択して、大会第一部を終了した。

午後三時からの第二部では、特別講演として広島市立広島市民病院の野間純産婦人科部長が「最近の産婦人科医療について」の演題で講演。産婦人科医療の最前線で活躍する野間医師から医療の現実や、最近問題になっている産婦人科医療の問題点などを聴き、午後四時二十分に終了した。

また同日午後五時から、平成二十年年度薬祖神大祭が(独)広島県薬剤師会主催、県下薬業十四団体の共催によ

り、隣接する(独)広島県薬剤師会館四階ホールで開かれ、県内薬業団体から約八十名が参加、配置関係は連合会から正副会長と受賞者の七名が参加した。

神主による儀式が執り行われ、各団体長が玉串を奉奠。小島配置医薬品連合会長も県配置薬業界を代表し副会長ともども薬業界の発展を願う玉串を奉奠した。引き続き祝賀会となり、主催者の前田泰則県薬剤師会長が「県内の薬業団体が一堂に会しての年に一回の大祭であり、大いに連携を深め、大いに語ってほしい」とあいさつ。ついで顧問県議、石原長造県薬務課長から祝辞が述べられ、石原業

務課長は「薬事法改正に關する省令は未だ決定せず、心配なこともあるのかと思いが、混乱無きように協力してほしい」と要請した。山木靖雄県議会副議長の

発声で乾杯し、会場では和やかな中にも盛んな意見交換や受賞者を囲む記念撮影も。その一角では、石原業務課長、前田薬剤師会長、船木登録協会長、小島連合会長、門那連合会副会長が歓談したりしていた。

### 中田勝之氏

昭和八年三月十四日生まれ、七十五歳。広島県福山市南本庄三六一一。昭和二十八年から医薬品

配置販売業に従事、現在に至る。その間、広島県配置医薬品連合会理事などを歴任、現在、広島県配置医薬品連合会副会長・資格審査委員などを務めている。業界ならびに会の発展と会員相互の親睦融和を図るとともに、組織の充実に努めた。東部地区役員として積極的に会運営に参与しているほか、会員の資質向上を目的とした事業にも尽力。さらに「ダメ。ゼッタイ。」運動や福祉事業協力など業務行政にも積極的に協力している。

会の中田副会長が受賞の栄に浴した。ついで叙勲受賞者一名、厚生労働大臣表彰受賞者二名、文部大臣表彰受賞者一名の披露があり、厚生労働大臣表彰受賞者として県配置医薬品連合会の中川幸則副会長も紹介された。藤田県知事、県会議長、市長会会長、町村会会長、県医師会長からの祝辞、来賓紹介、祝電披露のち、表彰受賞